

六本木クロッシング 2007：未来への脈動

2007年10月13日〔土〕－2008年1月14日〔月・祝〕 森美術館（六本木ヒルズ森タワー 53階）

日本の美術の未来を担う、36組のアーティストが集結。 第2回「六本木クロッシング」が始動。

多様なジャンルで活躍する日本のアーティストを紹介する「六本木クロッシング」。第二回目の開催となる本展では、枠に収まりきれないエネルギーと影響力を持つ“今見せるべき36組のアーティスト”を厳選しました。年齢、ジャンルを問わず、表現に突出する個性とインパクトがあり、日本の芸術表現のパワーを感じさせる作品が集まっています。

表現形態は絵画、彫刻、写真、デザイン、映像、マンガ、ゲーム、人形、ペンキ絵そして演劇など多岐にわたります。また、近年めざましい活躍を見せる若手作家のみならず、1960～70年代の日本のアートシーンで特異な存在感を示し、今なお精力的に活動する作家の作品も展示されます。日本の美術の流れにおける意外な共通点や影響を見出すことができるかもしれません。

アートのもつさまざまな要素を楽しむことができるのも、「六本木クロッシング」ならではの特徴です。作家が情熱と技術を注いで完成させた精緻な手仕事、突拍子もないアイデアから生まれた笑いを誘う表現、観客を刺激するインタラクティブな仕掛けなど、「こんなアートがあったのか」という発見がたくさんあります。36種類の表現を通して、新しい世界やお気に入りとの出会いがきっとあるはずです。もちろん本展のために制作される意欲的な新作の数々も必見です。

アーティスト一人ひとりの独創的な表現、作品の集まりによって浮かび上がるジャンルや時代の交差、作品どうし、あるいは作品内部の諸要素の交差に目を向けながら、時や分野を超えて息づく日本の創造性とその傾向を考察し“未来へ脈動する日本のアート”の可能性を探ります。

参加予定作家：

飴屋法水、池水慶一、伊藤ガビン、岩崎貴宏、宇川直宏、内原恭彦、内山英明、Ages5&Up、榎 忠、エンライトメント、小粥丈晴、鬼頭健吾、小林耕平、さかぎしよしお、佐藤雅彦＋桐山孝司、関口敦仁、立石大河、田中偉一郎、田中信行、チエルフィッチュ、辻川幸一郎、できやよい、中西信洋、名和晃平、長谷川踏太／TOMATO、原 真一、春木麻衣子、東恩納裕一、富谷悦子、真島竜男、丸山清人、山口崇司／d.v.d、横山裕一、吉野辰海、吉村芳生、四谷シモン

※あいうえお順



岩崎貴宏《Reflection Model》2001年 115×90×60 cm
檜、ワイヤー photo: Tomoeda Nozomi

キュレーター：

天野一夫（美術評論家・京都造形芸術大学教授）
荒木夏実（森美術館キュレーター）
佐藤直樹（ASYL アートディレクター）
榎木野衣（美術評論家）

掲載の画像を含む最新のプレス画像は、
森美術館ウェブサイトにて申請いただけます。

WWW.MORI.ART.MUSEUM

お問い合わせ 広報部 担当：高橋、田村、瀧
Tel: 03-6406-6111 Fax: 03-6406-9351
E-mail: pr@mori.art.museum Web: www.mori.art.museum
〒106-6150 東京都港区六本木 6-10-1
六本木ヒルズ森タワー 森美術館

PRESS RELEASE
プレスリリース

MORI ART MUSEUM

MORI ARTS CENTER



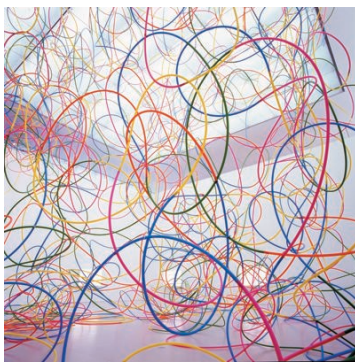
できやよい《カッペリ》
2003年 150 × 100cm
アクリル、紙
Courtesy: YAMAMOTO GENDAI



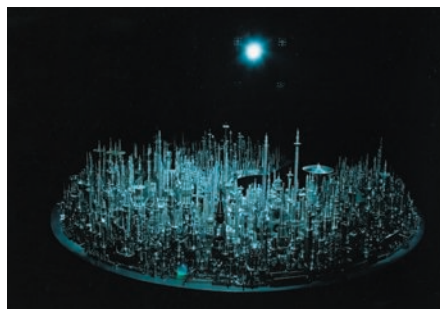
四谷シモン《機械仕掛けの少年》
1984年 135.7 × 51 × 34.8 cm
紙、木、金属、ガラス、毛、布、皮
徳島県立近代美術館蔵
Photo: Shinoyama Kishin



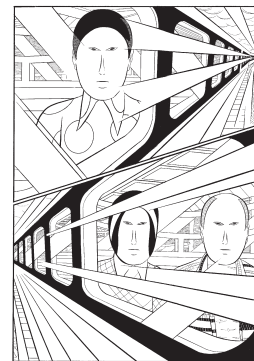
田中偉一郎《目おちダルマ》
2002年 サイズ可変 ミクスト・メディア
Courtesy: Yuka Sasahara Gallery



鬼頭健吾《無題》*
2005年 サイズ可変 フラフープほか
豊田市美術館「ベリー ベリー ヒューマン」展
Photo: Hayashi Tatsuo
写真提供: 豊田市美術館



榎 忠《RPM - 1200》
2005年 - 高 3.3m、直径 4.5m
金属
KPO キリンプラザ大阪「その男、榎 忠」展、2006
Photo: Hirakakiuchi Yuto



横山裕一《「トラベル」より》
2002 - 05年 525.6 × 360 cm
インクジェットプリント
Courtesy: East Press
Printed in France 2005, in Japan 2006

*参考図

六本木クロッシングのプライズ

オーディエンス賞

「六本木クロッシング2007」展では、鑑賞者（オーディエンス）の皆さんに選んでいただく「オーディエンス賞」を設けます。展覧会を見た後にもっとも印象に残った作家の作品を1点選んで投票してください。あなたの感性と作家が提示する作品が「交差」しあうことで選出される賞です。

投票場所：森美術館展示室出口
投票締め切り：12月17日（月）

MAM 賞

森美術館館長をはじめ、理事のメンバーが選ぶ賞です。

各賞の発表：12月20日（木）

PRESS RELEASE プレスリリース

MORI ART MUSEUM

MORI ARTS CENTER

パブリックプログラム

パネルディスカッション「クロストーク 2007」

＊日英・手話同時通訳付

本展は4人のキュレーターがそれぞれアーティストを推薦し、激論の末に最終出品作家を決定しました。今回重視したコンセプトや、展覧会の舞台裏などについて4人が語ります。

日時：10月14日（日）14:00-16:00

出演：天野一夫（美術評論家・京都造形芸術大学教授）、荒木夏実（森美術館キュレーター）、佐藤直樹（ASYLアートディレクター）、榎木野衣（美術評論家）

会場：アカデミーヒルズ 49 オーディトリウム（森タワー 49 階）

主催：森美術館、アカデミーヒルズ

定員：150名（要予約）

料金：一般 1000円 学生・MAMCメンバー 500円

予約開始：9月13日（木）10:00

六本木クロッシング 2007・チューズディ

＊日本語のみ

本展キュレーターが推薦アーティストを招き、ギャラリー内で作品について語り合います。

第1回「〈く像〉の生成点」

日時：10月30日（火）19:00 - 21:00

キュレーター：天野一夫（美術評論家・京都造形芸術大学教授）

アーティスト：さかざしよしお、田中信行、春木麻衣子

第2回「アート？デザイン？エンターテインメント？」

日時：11月6日〔火〕19:00 - 21:00

キュレーター：佐藤直樹（ASYLアートディレクター）

アーティスト：鮎屋法水、伊藤ガビン、田中偉一郎、辻川幸一郎

第3回「旅する作品、変化する物語」

日時：12月18日（火）19:00 - 21:00

キュレーター：荒木夏実（森美術館キュレーター）

アーティスト：小粥丈晴、東恩納裕一、眞島竜男

会場：森美術館 53 階 展示室内

定員：各回 80 名（要予約）

料金：500円（別途展覧会チケットが必要です）

キュレータートーク

＊日本語のみ

本展キュレーターが、それぞれの作品について会場内で皆さんと語り合います。

日時：10月24日（水）19:00-20:00

10月27日（土）14:00-15:00

ガイド：荒木夏実（森美術館キュレーター）

会場：森美術館 53 階展示室内（入口に集合下さい）

定員：30名（当日先着順、予約不要）

料金：無料（要展覧会チケット）

六本木クロッシング 2007 特別公演

チェルフィッチュ「三月の5日間」

＊日本語のみ

「六本木クロッシング 2007」展では、今日日本でもっとも注目すべき活動を行っている劇団としてチェルフィッチュをご紹介します。第49回岸田戯曲賞を受賞した「三月の5日間」（初演：2004年）は、アメリカがイラクへの空爆を開始した2003年3月に、渋谷のラブホテルで5日間を過ごした若者の話を中心に淡々と舞台が進行します。今の若者を象徴するような口語や独特な所作から、現代日本社会の諸問題が奇妙に浮かび上がります。

チェルフィッチュ：

岡田利規（1973年生まれ）のユニットとして1997年に旗揚げ。チェルフィッチュ（chelfitsch）とは自分本位（selfish）を幼児語化した造語で、現代日本社会、文化の特性を表している。その独特な言語・身体表現は高く評価され、今年ブリュッセルの芸術祭に招聘されて人気を博した。



photo: Rebecca Lee - Academie Andelrecht

日時：12月13日〔木〕

第1回公演：16:00 開演（15:30 開場）

第2回公演：20:00 開演（19:30 開場）

会場：アカデミーヒルズ 49 タワーホール（森タワー 49 階）

主催：森美術館、アカデミーヒルズ

定員：各回 150 名（要予約）

座席：全席自由

料金：一般 3,500円、学生・MAMCメンバー 3,000円

予約開始：9月13日（木）10:00

※お申し込み方法の詳細は近日中ウェブサイトにて公開いたします。

※このプログラムは森美術館ベストフレンズよりご協賛いただいております。

六本木クロッシング 2007 特別イベント

RX2007 ナイト：映像と音楽による未来への脈動

様々な表現が「交差」する本展にふさわしく、音楽や映像によるアートを体感するクラブイベントをスーパーデラックスと共催で行います。各界で活躍し注目を集めている本展参加アーティスト：エンライトメント、宇川直宏が贅沢な空間を演出します。

第1夜

出演：エンライトメント、大沢伸一、ほか

日時：11月9日（金）20:00～深夜

第2夜

出演：宇川直宏、ほか

日時：11月30日（金）20:00～深夜

会場：スーパーデラックス 東京都港区西麻布 3-1-25 B1 階

料金：一般・学生 3,000円、MAMCメンバー 2,500円

予約開始：9月13日（木）15:00

PRESS RELEASE

プレスリリース

MORI ART MUSEUM

MORI ARTS CENTER

小粥文晴ワークショップ「泉守りの旅」

小粥文晴の彫刻「泉」は、ハンドルを回すと音楽（作曲：坂本龍一）が流れ彫刻が回転して風景が変化するオルゴールの作品です。人の手によって動き、音が鳴り、さらに立ち会う作家と鑑賞者との対話によって、泉の意味は発展していきます。

今回六本木ヒルズの各所で、作家と一緒に皆さんにオルゴールを回していただくイベントを行います。どんな風景と対話が生まれるのか、体験してください。

料金：無料（展望台、美術館入口へ行くには別途入館料がかかります）

予約：不要。当日会場に直接お越し下さい。

※日時・会場は変更になる可能性があります。ウェブサイトにてご確認のうえ、ご来場ください。

日時：10月20日（土）13：00－17：00

会場：展望台 東京シティビュー（森タワー52階）

日時：10月21日（日）13：00－17：00

会場：森美術館入口センターアトリウム（森タワー52階）

日時：11月10日（土）、11日（日）13：00－17：00

会場：六本木ヒルズ ウェストウォーク（森タワー2階）

池水慶一「猫はどこへいった？」六本木高校プロジェクト

池水慶一の「猫はどこへいった？」は、思わぬ場所にドアを置くことによって見たことのない風景を作り出す作品です。今回、六本木ヒルズの展望台から見える六本木高校のグラウンドに24枚のカラフルなドアを設置します。

期間：10月29日（月）－11月10日（土）

鑑賞地点：展望台 東京シティビュー内（森タワー52階）

協力：東京都立六本木高等学校

※展望台への入館は観覧チケットが必要です。

<特別鑑賞会>

予約制で六本木高校内の作品を間近で鑑賞できます。

日時：11月3日（土） 第一回 11：00 第二回 14：00

定員：各回20名

料金：無料（要予約）

予約開始：9月13日（木）10：00

予約が必要なプログラムはウェブサイト www.mori.art.museum よりお申し込みください。

* このほかギャラリートーク、学校プログラムなどを予定。詳しくはお問い合わせください。

お問い合わせ：森美術館学芸部 パブリックプログラム

Tel: 03-6406-6101 E-mail: ppevent@mori.art.museum

上記パブリックプログラムの取材をご希望の場合は、広報部までお問い合わせください。

主催：森美術館

助成：財団法人セゾン文化財団、財団法人中山隼雄科学技術文化財団

協賛：日本サムスン株式会社、agnès b.

協力：ニコラ・フィアット、グレイグース

制作協力：hhstyle.com、エプソン販売株式会社、株式会社エービーシー商会、株式会社カシマ、キリンホールディングス株式会社、

大日本印刷株式会社、タカヤ株式会社、有限会社トータルインテリア スガハラ、パール株式会社、有限会社フォトグラファーズ・ラボラトリー、

富士フィルム株式会社、富士フィルムイメージテック株式会社、三菱電機株式会社

開館時間：10：00－22：00 | 火 10：00－17：00 | ただし 12/25（火）、1/1（火）は 22：00 まで開館 | いずれも入館は閉館時間の 30 分前まで
入館料 [円]：一般 1,500、学生（高校・大学生）1,000、子供（4 歳以上－中学生）500 *表示料金に消費税込

*本展のチケットで展望台 東京シティビューにも入館可

*開館時間、入館料は観覧会ごとに異なる場合があります。

お問い合わせ：TEL：03-5777-8600（ハローダイヤル）

掲載の画像を含む最新のプレス画像は、森美術館ウェブサイトにて申請いただけます。 **WWW.MORI.ART.MUSEUM**

お問い合わせ 広報部 担当：高橋、田村、瀧

Tel: 03-6406-6111 Fax: 03-6406-9351 E-mail: pr@mori.art.museum Web: www.mori.art.museum

106-6150 東京都港区六本木 6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 森美術館

PRESS RELEASE**プレスリリース****MORI ART MUSEUM****MORI ARTS CENTER**